

Take action for your Future

福井県立武生高等学校 SSH 研究推進部 No.4 R3.7.5(月)

ミニ研究論文発表会

6月11日(金)本校葵講堂にて、1年探究進学科生徒全員が参加して、「ミニ研究論文発表会」を開催しました。この研究論文は生徒たちが春休み中に研究したものをまとめ、1年探究進学科設定科目である「人間生活探究」の一環として授業の中で発表するもので、この発表を通して、これからの研究のあり方や「新しい社会」について考えるきっかけを得ることを目的とするものです。

今年度、76人の論文の中から本校教員らが優秀な論文5つを選び、この日生徒が発表しました。

小島 杏菜	マスクによってどれだけ日焼けを防ぐことができるのか
橋本 健人	防音に関する実験
高坂 菜月	風力発電や風車のプロペラの仕組み
谷崎 怜生	お家で作る、おいしいわらびもち PART3
塚本 大雅	身のまわりの物の防音効果



優秀賞を受賞した5名

最優秀賞には身近な素材の防音効果について調べた塚本大雅さんの論文が選ばれました。

6月18日の福井新聞にこの内容が掲載されました。(以下抜粋)

塚本さんはカーペットとスポンジゴム、気泡緩衝材の防音性能を研究した。各素材を内側に貼った段ボールにスピーカーを入れ、どれくらい音が小さくなったか計測。素材によって防音しやすい音の高さに違いがあることがわかった。素材を組み合わせた時の防音効果についても調べた。

塚本さんは「長い時間をかけた実験を行い研究を深めたので、努力が実ったようでうれしい」と受賞を喜んでいました。

【参加した生徒の感想】

・一つの視点から問いを見るのではなく、別の視点から問いを見たときに何か別の理由が無いのか探すことで新たな発見があると思った。
・もっと身の回りのことに興味を持ち、普段からなぜ?という気持ちを大切にしようと思いました。

【指導助言者からのコメント】

課題研究のタイトルについては、出来る限り内容がわかるように、また興味を持ってもらえるようにした方がいい。また、問いの明確化が望ましい。たとえば、「プロペラの枚数は多いほど、大きさは小さいほど、長さは長いほど、プロペラの回転速度は速くなる」などのように、結論をタイトルにするとみんなの興味をひきやすくなる。ほかにも、「やわらかい」、「おいしい」という主観的なものをどのように科学的に検証するのか、ここは工夫が必要だ。表現の本質を明確にしよう。など、貴重なアドバイスをいただきました。

【最近のニュース】

PS II で発表したプラゴミの分別についてのポスターが越前市役所HPに掲載されました。

研究論文 塚本さん最優秀 武生高探究進学科 生徒が発表



福井新聞に掲載された写真



武生高校3年9月6日